

平成26年11月第11回教育委員会定例会

【日 時】平成26年11月25日（火）午後1時30分～午後4時30分

【場 所】北栄町役場大栄庁舎 第4会議室

【出席者】福光純一委員長・河本恒夫委員長職務代理者・光村哉智代委員・岩垣教育長・西村教育総務課長・杉本生涯学習課長・岩田指導主事・桑本指導主事・大庭教育総務課室長

【議事日程】

1 会議録署名委員の指名 河本委員、光村委員を指名

2 行政報告

教育長

・11月10日議会行政報告会について

※浜本議員より合併10周年記念でもあり美術展に学校の児童生徒の作品を展示してはどうかとの提案あり。美術展委員会で検討してもらうこととなる。議長同席であったが、漫画の取り組みもあり、10周年企画での子どもたちの発表の場はいろいろあり特に考えていない。特に、美術展は町の文化の最高の場であるもの。現在は子どもたちの作品はほとんどない。

・11月20日町村教育長から県教育委員会への要望について

※体力の低下がみられるためのその対応方策の実施、複式学級の解消に伴う500万円負担の配慮などを要望

・臨時保育士について

※臨時保育士の人材確保が難しい。平成27年度は、有資格者の処遇改善として、日額7,200円を8,200円へ、通勤手当は、上限があったものを正職員並みに、担任手当は、6,500円を17,000円に変更し、募集を行う。中部町村の中でも悪くない条件。パートから正職員になってもらう。遠方の方も応募してもらうことが狙い。

・教育連絡会について

(委員長) 臨時保育士は、担任を受け持てば8,200円+17,000円となる。

(教育長) そうということとなる。

(委員) 何人くらい募集するのか。

(教育長) 入所人数にあわせて募集することとなる。有資格者がいないのが現状。現場は初めて子どもに接する人もあり大変。

(事務局) 4月以降中途入所があると人材の確保が必要だが確保が困難。

(委員長) このことは他町もそうだと思う。国の施策がお粗末すぎる。考えるべき。

(教育長) 北栄町が上があれば他町も上がると思うが先行実施するもの。

教育総務課長

- ・第10回定例教育委員会の開催について
- ・園・所・学校の行事について
- ・その他特徴的な事項について

生涯学習課長

- ・図書館まつりについて
- ・企画展「中本茂晴 作陶展」について
- ・第10回北栄町美術展について
- ・「豊田家の足跡をたどる散策と野点」について
- ・平成26年度ふれあいミニまつりについて
- ・「大栄文化センター運営の検討」について
- ・第69回米子～鳥取間駅伝競走大会について
- ・自治会まちづくり役員研修会について
- ・すいか・ながいも健康マラソン大会実行委員会について
- ・ほくえい秋の味覚ウオーク2014について
- ・第9回北栄町駅伝競走大会について
- ・鳥取大学ヒューマン・コミュニケーション講座 in 北栄町「パパ・ママ子育て心の応援団」について
- ・今後の行事予定について
 - ・ほくえいじんけんフェスタ2014
 - ・平成27年北栄町成人式
 - ・第9回北栄町公民館まつり
- ・その他特徴的な事項について
 - ・今後の大栄文化センターの事業運営のあり方（答申素案）について
 - ・工事発注について

(委員) 課題と目標の平成26年度全国学力テストの結果が公表されたとあるがどうということか。

(事務局) テスト結果により第2回豊かな育ちと学び力アップ会議で分析検討を行うもの。PDCAサイクルで取り組んでいくもの。

(委員) NRT等の結果に基づき会議で課題を洗い出し平成27年度につなげるということ。4校学校事務の効率化の検証は。

(事務局) 4校で学校事務共同実施連絡協議会を設置し年2回取り組んでいる。年度当初に第1回を開催し、前年度の評価と目標設定、10月ごろに第2回を開催し中間評価を行っている。

(委員) 効果はあるのか。

(教育長) 加配職員が配置され、4校の旅費等の事務を点検できる。学校だよりで効率化を周知したり、接遇研修を行っている。学校会計の事務や、校外学習のバスの借り上げ方法など教員の負担軽減を図っている。

(事務局) 4校で事務の標準化に取り組んでおり、ファイルの一元化に努めており非常に能力が高く、事務の効率化が図れている。

(委員) 順調か。

(教育長) 順調である。ただ、共同実施を始めて10年近くなる。今後加配職員が配置されるか課題。

(委員) 大栄文化センターの在り方について、素案ということは変わるということですか。

(事務局) その通りである。検討メンバーで作った素案である。パブリックコメントを実施し、意見により変更していく。

(委員長) すいか・ながいもマラソン大会は教育委員会か。

(事務局) そうである。変更はない。

(委員長) 早くなるということは早く事務をするということか。

(事務局) 予算を債務負担で措置し今年度からポスター作成等取り組んでいく。

(委員長) マラソンは全町で取り組まないといけない。

(事務局) 各部署にマニュアル作成を依頼している。

(委員) 教育委員会は全体のコントロールをし、詳細は担当で実施する。

(事務局) 大会日程は、2週間前倒しの6月21日。この日しかなかった。

(教育長) マラソン大会の日程を前倒ししたことについては、5年間の平均気温に基づいて行った。スイカがあることは確認したが、価格が高い時期であるかもしれない。価格は交渉が必要である。

4 議 事

議案第37号 指定管理者の指定の議案提案に係る意見について

※特になし。

議案第38号 指定管理者の指定の議案提案に係る意見について

※主な意見

(委員) なぜ大栄分館だけなのか。

(事務局) 当初、NPOまちづくりネットから大栄分館だけの運営をしないと希望があったもの。本館は希望していない。

(委員長) 自治公民館とのあり方や直営実施と指定管理者管理とのバランスが難しい。

(事務局) NPOまちづくりネットは本館まで希望しない。本館はその他美術展などの業務も行っている。本館をしてまで利益が上がらない。

(委員) 説明が難しい。

(事務局) 通常は3月議会への上程であるが、人的配置などもあり12月に上程したい。

(委員長) 両方あると整理しやすい。社会教育上必要ではないかという考え方もある。

議案第39号 北栄町歴史民俗資料館運営委員会委員の委嘱について

※原案のとおり承認。

議案第40号 北栄町教育委員会の職場におけるハラスメントの防止に関する要綱の一部を改正する要綱の制定について

(委員) 第3条の2 遵守事項の第4号「私的な事」はいらぬのではないか。

(事務局) 妊娠・出産が人口減少や子育て環境などの社会全体の課題として公的な機関が率先して取り組むもので意味があり盛り込んだもの。

(委員) それにしても私的なはどうか。

(委員) 職場で妊娠するからとか、妊娠・出産があたかも悪いような風潮があるから盛り込んであるのではないか。

(事務局) 最近、社会でも妊娠を理由にした裁判の報道もあった。今現実にそういうこともあり、職場でそのようなことをなくしていこうとするもの。

(事務局) 町職員への要綱には同じように私的な事という文言が明記されている。必ずしも一本化する必要はないが、検討してほしい。

(委員) 長い文章はあまり好きではない。町でもそういうことであればこだわることではないが。

(委員長) 町とあわせて訴える。取り組んでいく。

※原案のとおり承認。

5 報告事項

- ・北栄町教育行政評価（内部評価）の実施について

(委員) 目標、成果、具体的な取り組みはきちんと書いてあるか。

(事務局) 書いてある。文章化してあるものもある。委員さんの意見を当初予算編成に反映させたいので、意見を12月5日までに事務局へ提出してください。また、事業の不明な点等は事務局まで連絡ください。

- ・「北栄の子どもの過ごし方」各学校の取り組みについて

(委員長) 定期考査はテスト前後に集中して実施するということか。

(事務局) テストの前に質問週間を設定し、教員に聞く、生徒通しで相談する日として設定する。年間8時間確保する。

(委員) 教育委員会の方針としては、取り組みは一斉にするということではなかったか。

(事務局) (2) 具体的な方法①2週間に1時間を減らし取り組むこととしたが、大栄中はまとめ取りすることとしている。

(委員) つまづきを解消するためこまめな取り組みをする、2週間に1時間をつまづきを解消する取り組みにあてることで解消していくことだと理解しているがどうか。

(事務局) 基本的には授業で解消するが、効果的な取り組みとしてテスト前後に取り組むこととした。委員さんの心配については細字部分の対応を取

ることとしている。

(委員) 大栄中を認めるか、他の学校でも違うやり方をするというところはありはしないか。2週間に1時間をはっきりしておいた方がいいのではないかな。まとめ取りはなしと理解している。相違しているものを解消し他方がいいのではないかな。

(委員) 他の学校は知っているのか。

(事務局) 横の連絡はしていない。

(教育長) 大栄小校長の説明により柔軟に設定している。

(委員) 細字のつまずきの解消は普段していることではないか。

(委員) 現在していることを充実させるために質問タイムを提案したのではないかな。テストを有効に集中させてやることは考えなくもないが。

(事務局) 話し合ってきた(2)①を承知した上での決定のようだ。したがって、両方の解消の取り組み記載をしている。

(委員) 定期考査のためにするものではない。実際はいいかもしれないが教育委員会の考え方と違っているのではないかな。2週間に1時間をどう意味合い、定義とするのか。

(教育長) 当初は毎週1時間としていたが、時間割などの都合上で着ないから1ヶ月に2回、2週間に1時間とした。これによりつまずきの解消ができるとしたもの。

(委員) 学校が一番いいと考えるやり方かもしれないが、教育委員会の考え方を示したら違っていた。再度提案したときに変更はできるのか。

(委員長) 中学校長と話をすることもある。2週間に1時間とした考え方を互いに検討することもある。

(事務局) 取り組みの目的がはっきりしやすい。

(委員) 目的を持って一気に解決しようとするやり方。教育委員会は短いスペースですぐ解決していく必要があるとしたものである。

(委員長) 今日の意見を校長に話をして考えていただくことはどうか。12月委員会でも再度話をしてはどうか。テストに対してつまずきを解消することもわかるがテストからテストまでの間が長く開いてしまう。個人が抱える課題をすぐに解決できないのではないかな。2週間に1時間解消に取り組むことによって細かく解決するのではないかな。もう一度はなしを試してみてください。まだ時間はある。

(教育長) 夏季休業中の統一ができない理由も一緒に聞いてください。

・「すこやかスマイルプラン(2)」の各課ヒアリング結果について

(委員) 今のプランを検証し新事業に盛り込むためのプランを作成するということか。

(事務局) そういうこと。基本目標は、現在6つの目標を3つの目標とする。

資料について委員の皆さんの意見をお伺いしたい。意見については、12月10日までに子育て支援室へ連絡してほしい。今後の対応策は12月教育委員会で協議する。

- ・北栄町少子化対策強化事業「子育て応援セミナー」の日程説明について
- ・「北栄町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例(案)」のパブリックコメントの結果について
(委員) パブリックコメントの聞き方は。
(事務局) 条例案をそのまま掲載。
(委員) 以前に条例案の中身を聴くようなことはなかったか。
(事務局) なかった。国の示したものをもとに市町村で判断し定めるもの。

6 その他

- ・地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正について
(委員) 新教育長は委員ではないのか。
(教育長) 新教育長+委員4名。委員は5人から4人となる。新教育長の代理は委員の中から選任されることもある。委員会の運営上事務局職員の場合もある。
(委員長) 大綱の作成があるが、町長と教育委員会で協議することとなる。事務局はどうか。
(教育長) 首長主宰の会議であるため事務局は原則首長部局となる。しかし、以前副町長とざっくりばらんな話の時には教育委員会で持ったほうがいいのではとあった。教育委員会が補助執行するということもある。
- ・平成26年12月第8回北栄町議会の日程について
- ・(追加) 平成26年12月第8回北栄町議会一般質問について
(委員長) 「弁当の日」はやっているのか。
(事務局) 「弁当の日」ではなく、その関連で小学校は家庭科で弁当を題材に学習をしている。
(委員長) 家庭科に弁当を作るということはあるのか。
(事務局) ないが、関連付けて取り組んでいる。現在は両小学校でやっている。
(委員長) 中学校ではやっていないのか。中学校のほうがいいのではないか。
(事務局) 中学校ではやっていない。理解が得られた北条小から取り組み現在は両小学校でやっている。
(教育長) 健康推進課の主催している事業。「弁当の日」を特にやろうとは思っていない。給食の兼ね合い、保護者負担等もある。
(委員長) 安全対策について油本議員は一貫している。中学校の下校時間は決まっているのか。暗い時間に帰っているが。
(事務局) 完全下校午後5時30分、ただし、もうその時間は暗くなっている

る。

(事務局) 栄地区については、12月から3月卒業式までスクールバスを運行している。

(委員) 北溟中学校の土地のことまで教育委員会が答えるのか。

(教育長) 湯梨浜町が質問のとおり言っているのか確認したい。

(事務局) もう既に学校施設で管理していないということ。教育財産ではなく、普通財産として土地の処分ということで財産管理ではないかということ。

・次回教育委員会 定例会 12月24日(水)午後1時30分から